

第2次千葉市文化芸術振興計画 事業視察シート

視察者

鶴田 恭子

基本施策名	基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」 (1)多様な文化芸術イベントの開催	
事業名	バイサイドジャズ千葉（ジャズストリートを視察）	
実施主体	実行委員会	(名称) (公財)千葉市文化振興財団・バイサイドジャズ千葉実行委員会
会場	そごう千葉店 正面入口前広場 / そごう千葉店 9F / レクサス千葉中央 / 文化センター /	
日時	平成30年9月29日 (土) 11 時 30分 ~ 21時 00分	

【チェックポイント】 ※以下の点に着目して評価してください。

評価指標 2 戦略的な視点・基本姿勢との適合	
(1)市民主体	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ妥当 <input type="checkbox"/> 工夫により改善 <input type="checkbox"/> 見直し (評価の理由) 固定客が多いとみられる。殊に、屋外スペースにおいては、自前の移動椅子を持参するまでして楽しむ姿があった。毎年、ストリートジャズの催しを楽しみにしているということだつた。男性60代後半。また、この方は、そごう千葉9Fのプロの歌手のトリオ演奏に合わせて会場を移動されていたので、ストリートジャズの楽しみ方を熟知しておいでとわかる。一方、そごう千葉9F。9F10Fの吹き抜けエリアを利用しての演奏。しっとりとした秋を感じる音色にあふれ、さすがのプロによるパフォーマンス。しかし、常設のポリカーボネートのフェンスが曇り、また、噴水が、作動を止められていたが水が漏れ、その音が気になった。店舗側としては、協賛の意向を表しているものかと思うが、真摯な思いは感じられない。主催者側からの申し入れはできないものかと思う。レクサス千葉会場の公演は、写真撮影はもちろん、録音までもが許可された大盤振る舞いに驚いた。出演者と主催者の信頼関係が出来上がった状況とってよいのか。
	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> ほぼ妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 工夫により改善 <input type="checkbox"/> 見直し (評価の理由) 若い人、子どもたちの参加は認められなかった。当日の天候不順による会場封鎖によるものかもしれない。中央公園特設ステージ、葎川公園、葎川リバーサイド1など屋外会場がオープンできていたら、親子連れなど比較的若い年代の人たちの参加が見られたかもしれない。致し方ない。昨年以前の資料などからイベント参加者年齢の数字値が拾えれば参考にしたい。文化センター 3Fアートホール 総合司会：まきいわ・まさお氏のMC「みなさん、子供と一緒に、孫と一緒に来て下さい。」が物語っているかと思う。とはいうものの、ジャズというもの、【大人の楽しみ】と、私はとらえる。無料会場で街頭ライブにふれ、ジャズっていいなと思えたら、そこからバイサイドジャズの顧客となればよいのではないかと考える。

(3)領域の広がり	<input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> ほぼ妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 工夫により改善 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し
	<p>(評価の理由) リピーターが多い。柴町駅近くの2会場、〈 らーめん壺中 〉 〈 Lounge Marine Rogue 〉 におけるステージをみると、いずれもコアな聴衆といった感が濃い。前者は Hammond・オルガンを含むセッションで、今回の出演者の中でも異彩を放っていた。お客さんはほとんど男性20人強、30人マックスの小さな空間が、やや緊張感を強いる空気感の下でのパフォーマンスだった。当然、客も、そのあたりを周知の上、楽しんでいただろうと思う。途中からの入室ははばかりな雰囲気だった。後者は女性客多めの40人ほど。穴倉のような暗い店内。顔なじみ、知り合いが集った様子。3公演を通して楽しむ方が多く、奏者がそれに触れ、同じ曲目はできないね、と語っていた。新しい顧客を開発する手立ても大いに必要かと感じた。</p>

その他 (評価すべき点・改善すべき点・気づいた点など)
<p>※評価指標 1 (3)他の基本施策への波及に該当する取組が見受けられた場合はこちらに記載してください。</p> <p>① 天候不順が予想されたため、一部会場が取りやめとなった。早めの判断は安全のため、好ましい。一方、利用者たる市民の情報取得に遺漏はなかっただろうか。雨天のため中止と知らず足を運び、その残念な気持ちを声にする人はいなかったか。② 中止となった会場で演奏することを楽しみにしていたであろう、アマチュアの演奏家の皆さんからの声はなかったか。③ 演奏は飲食を伴わず傾聴すべし、という路線があるようだ。お客からは反対する声はないか。ジャズはたばこの紫煙の中、ウイスキーなりバーボンなり傾けつつ、低い喧騒をしたがえてたしなむものだと思っていた。やわらかな対応が欲しい。</p>